



# みくにだより

「大きくなったら、何になりたいですか？」 園長 細井 典子

今まで年下の友だちのお世話をしてくださった年長さんは、もうすぐ卒業です。そんな年長児は毎年この時期になると楽しかったことや将来の夢をテーマにして『文集』を作っています。

「カルタ作り」や「郵便ごっこ」を通して少しずつ文字を書くことにも慣れてきました。

「みくに学園で一番楽しかったことは何ですか？」という質問には、餅つき、クリスマス会、いちご狩り、お店やさんごっこ、越後湯沢へおとまりに行ったこと、手賀の丘の体育館でボールで遊んだこと等々、園の行事や遠足のことを書いています。また、その他には園生活を思い出して、粘土で恐竜を作ったこと、鬼ごっこ、誕生会、絵本を作ったこと、園庭で山と川を作ったこと、鉄棒で逆上がりが出来たこと、等々。ひとりひとりが夢中になって、友だちと一緒に遊んだひと時が宝物となって心に残っていたんだなあ気づかされます。

また「大きくなったら、何になりたいですか？」の問いには、ケーキ屋さん、お花屋さん、電車の運転手、サッカー選手、デザイナー、アイス屋さん、美容師、お医者さん、保育士等の返答が多かった中で、個性的なものとして「宇宙飛行士、ポケモン博士、ダンサー、まんがを作る人、ロボットを作る人、総理大臣、シンデレラ、ユーチューバー、テレビに出る人、恐竜の化石を探す人、歌舞伎役者、モノレールの運転手、等々。年長の皆さんのお顔と将来の姿を想像しながら、毎年楽しく読ませていただいています。

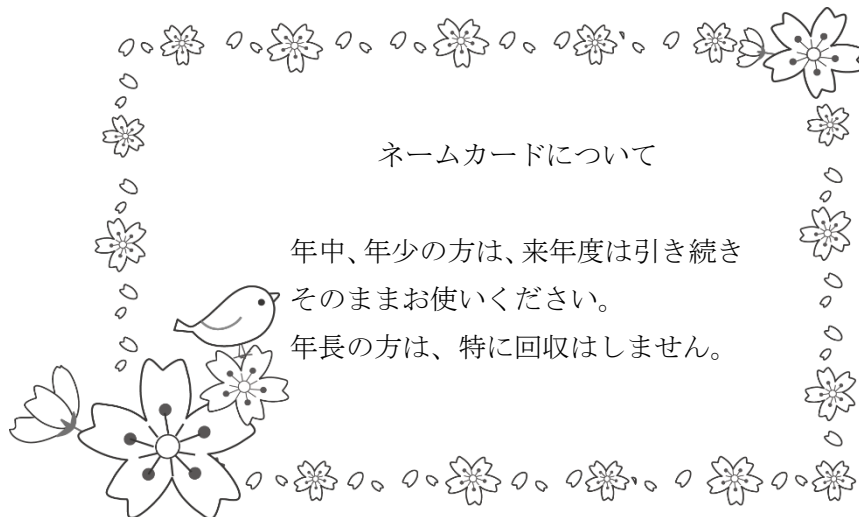
何年か前の卒業生の話です。『文集』作りの話を聞いて、「先生、あのね。私、なりたいものがいっぱいあって困っちゃうの。ゼーンぶ書いてもいいかな？」と紫バッジのあゆちゃんが言いました。

「えっ！いいの！」と言ってあゆちゃんが書いたのは、「わたしのたのしかったことは、ようちえんで絵本を作ったことです。ゆめはバレリーナになるとピアニストになるとえかきさんになることです」そして文字の横にピアノとバレエをしている私と絵を描いている私が書いてありました。

そして、それから何年かしてあゆちゃんから年賀状をいただきました。今は『絵』の勉強をしているそうです。『絵描きになりたい』と文集に書いた『夢』をかなえようと一歩ずつ努力しているお姉さんです。もうひとり、卒業生のまいちゃん「ゆざわでおとまりしたことがたのしかったです。おおきくなったら、みくにようちえんのせんせいになりたい」。まいちゃん、どうしたかなあ。夢に向かって勉強しているかしら。いつまでも待っていますよ。応援しますね。

今年の『文集』は、こんな文集になるのでしょうか？たのしみです。

年長の皆さん、ご卒業おめでとうございます。『夢』に向かって努力し、『夢』をかなえてください。



ネームカードについて

年中、年少の方は、来年度は引き続き

そのままお使いください。

年長の方は、特に回収はしません。